

研究課題名 バンコマイシン耐性腸球菌の分子疫学的解析および病原性解析に関する研究

研究責任者名 広島大学院内感染症プロジェクト研究センター センター長
広島大学病院 感染症科 教授 大毛宏喜

研究期間 2021年6月25日（倫理委員会承認後）～2031年3月31日

対象者

2021年4月から2030年3月の間に広島大学病院で細菌培養検査を受け、腸球菌が検出された患者さんを対象とします。

意義・目的

バンコマイシン耐性腸球菌（VRE）感染症は、感染症法上の5類全数把握対象疾患であり、感染症発生動向調査における届出患者数は2011～2019年まで年間100例未満で推移してきました。しかし、2020年は135例と、これまで最多であった2010年の120例を超え、全国的に届出が増加しています。

VREは院内感染の原因となる代表的な薬剤耐性菌の1つであり、その対策には感染症法の届出対象となる発症者だけではなく、保菌者の把握も重要であり、腸球菌のサーベイランスを行うことで、感染症として上がってこないVREの存在を明らかにする必要があります。

本研究は、広島大学病院で分離される腸球菌の薬剤耐性遺伝子の保有状況を把握するために、広島大学院内感染症プロジェクト研究センターに収集された菌株の分子疫学的・統計学的解析を行い、それらの解析結果の情報を広島大学病院にフィードバックして薬剤耐性菌の動向調査結果の情報共有、拡散防止対策の向上、ならびに、臨床治療に活用していただくことを目的としています。

方法

本研究は診療情報を転記し、患者さんから分離された腸球菌の遺伝子学的、細菌学的解析を行います。

使用する診療情報は年齢、性別、内服歴（使用抗生剤）、微生物学的検査結果（薬剤感受性検査、経過中に

（解析の際には、匿名化後のデータのみを扱うため、個人を特定できる情報は含みません。）

共同研究機関

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

TEL：082-257-5636

広島大学院内感染症プロジェクト研究センター 副センター長

広島大学大学院医系科学研究科 細菌学研究室 教授 小松澤 均